



お寺の掲示板には
住職前任職が「毎月」言葉を書いて、
通りがかりの人がメモをしたりして、
「意味を覚えてもらいたい」と、
たずねられることもあります。
この「お寺の掲示板」のコーナーで
お伝えしていきたいと思えます。

寒いねと
話しかければ
寒いねと
答える人のいる
あたたかさ

〈掲示月〉2021年(令和3年)1月



今月のことばは、俵万智さん(1992)です。
寒い日が続きます。思わず「寒い」が口癖になります。そんな時、冬は寒いのが当然「寒さに負けずに頑張れ」という言葉より「寒いね」と言われた方が、安心いたします。
「寒いね」に「寒いね」で、寒さが増幅され、より一層寒さを感じるのではなく、うなずき共感してくれる人が傍にすることで、あたたかい気持ちになれます。
私が中学2年の時に兄が亡くなり、中学3年の時に母が亡くなりました。母が亡くなった時、弔問に来られた方々に「しっかりね」と言われ、涙を見せるのは格好悪いと、必死で涙をこらえていました。そんな時、親戚の伯母さんが「お母さんが亡くなった辛いね、悲しいね」と涙を流し

ながら声をかけてくれました。その言葉に、こぼれていた涙が一気に溢れ、泣きじゃくったことを、今でも鮮明に憶えています。辛い、悲しい時に「しっかり」よりは、「辛いね、悲しいね」の方が心に響きます。
仏さまのお慈悲は「同体の慈悲」といわれています。慈悲の「悲」については、「悲」は「羽が左右に反対に開いたさま、胸が裂けるようなせつない感じのこと」と辞典にあります。
「寒いね」に「寒さに負けず頑張れ」というのは、体も心も別の人の言葉です。「寒いね」に「寒いね」、「悲しい」時には、共に「悲しいね」が、心に響きます。自分を受け止め、認めてくれる、「人・教え・言葉」に、生きる力が恵まれます。



御正忌年頭初参会

緊急事態宣言が発令されたのが14日でしたので不安もありましたが、無事に勤修することができました。法話は住職、前任職による自勤でした。いつもと違う形での開催でしたが、大きな混乱はありませんでした。寒い中また新型コロナで不安な中、参詣くださった御門信徒の皆様、検温・会場の消毒等ご尽力いただいた婦人会の皆様、受付のお世話をいただいた世話人の方々、本当にありがとうございました。多くの恩恵に感謝しながら大切な時間をすごすことができました。まだご縁に遇われていないかたは是非おまいりください。



▲法座の様子



▲検温の様子



▲お手伝いいただいた皆様(その1)



▲お手伝いいただいた皆様(その2)

永代経懇志御礼

深町 正様をご縁として
深町 幸子 様

2月の行事予定

16日(火) 宗祖命日 朝7時

18日(木) 婦人会例会 13時～(永照寺門徒会館)

※お斎はありません。

お知らせ

- お経本は床に置かないでください。
- 毎月16日は親鸞聖人命日(おあさじ)にお参りください。
- 寺報が届かないことがあります。住所が変更する場合は、恐れ入りますがお寺に届けてください。
- 最近では法事が土曜・日曜に集中しますので、早めに連絡頂ければ助かります。(特にお寺で法事をする場合)

永照寺 開門・閉門の時間

・開門...6時30分
・閉門...18時



行事予定やお参り・法要などの連絡事項は「ホームページ」にて随時更新しています。離れて暮らすご家族にもオススメください。

ホームページに関してのご意見、ご希望、メールをお待ちしています。
<http://www.eishouji.or.jp/>

北九州 永照寺 Q 検索



永照寺:住職のブログ【凡愚庵(ぼんぐあん)】も合わせてご覧いただければ幸いです。左記のホームページ内に移転しました。



モバイルはこのマークをカメラで読み込んでください。